「富岳」ユーザブリーフィング　資料

４月以降の利用制度の変更について

2026年 3月12日

一般財団法人 高度情報科学技術研究機構
（略称：RIST）

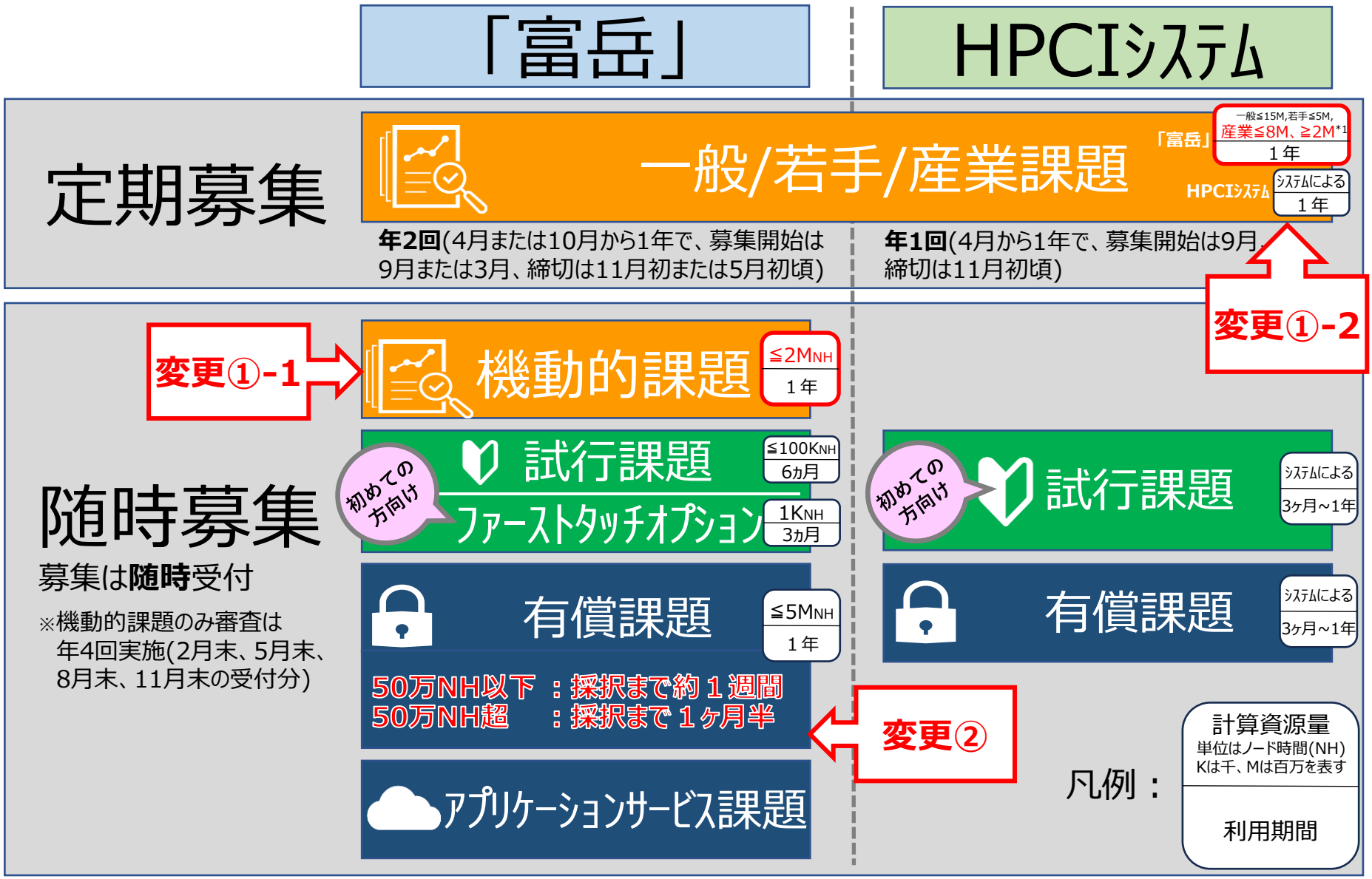
© 2026 RIST

目 次

- 「富岳」とHPCIの利用制度の概要
  - 変更 ①「富岳」機動的課題と定期課題の変更
  - 変更 ②「富岳」有償課題の変更
- 「富岳」の課題の種類ごとの違い
- 参考　よくある質問　利用事例の便利な検索方法
- 変更のまとめ

© 2026 RIST

「富岳」とHPCIの利用制度の概要



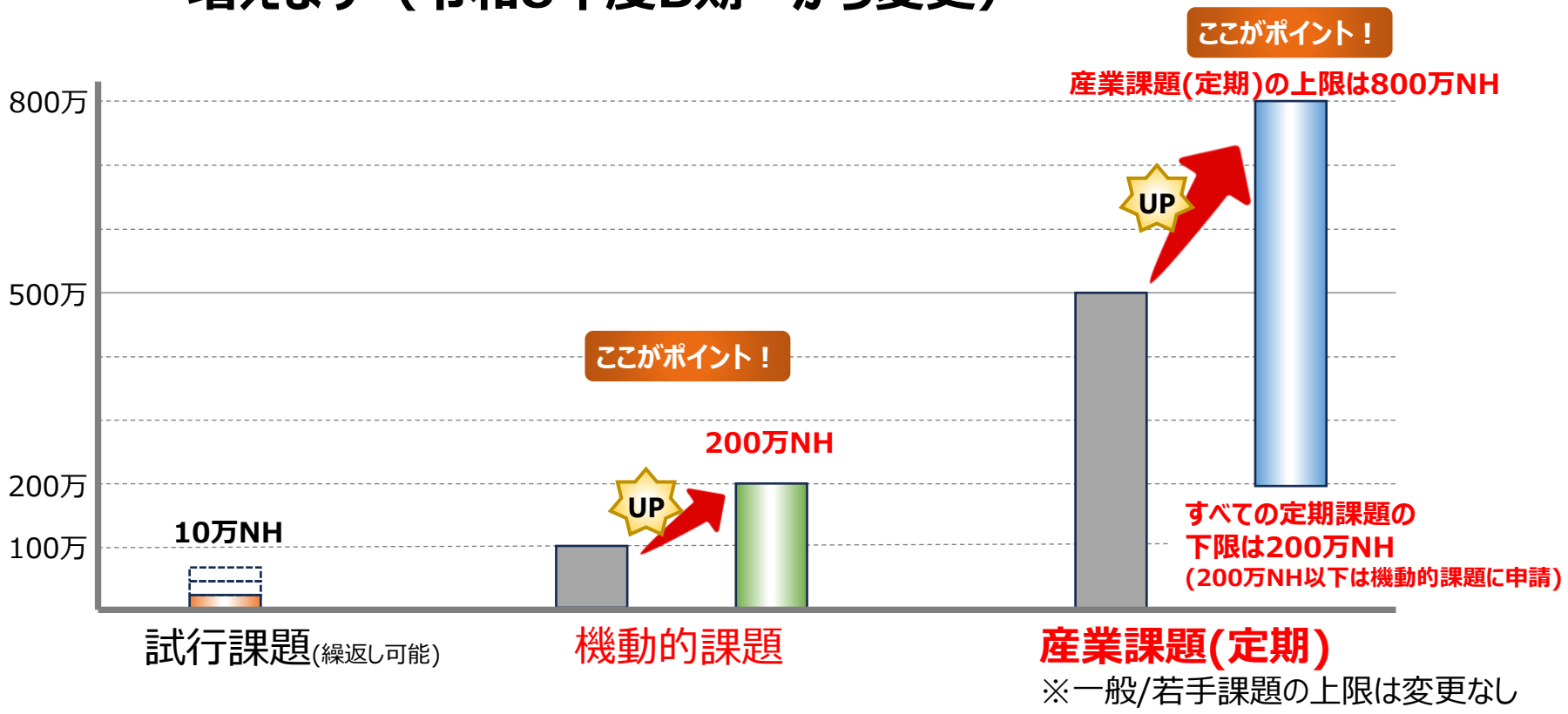
*1: 新たに**下限を200万NH**に設定（200万NH以下は機動的課題で申請）。 産業課題(定期)はコンソーシアム型以外もどちらも**上限は800万NHに引上げ。**

© 2026 RIST

変更①「富岳」機動的課題と定期課題の変更

変更①-1 **機動的課題の計算資源量の上限が200万NHに増えます（2026年5月末までの受付分から変更）**

変更①-2 **産業課題(定期)の計算資源量の上限が800万NH/年*1に増えます（令和8年度B期*2から変更）**



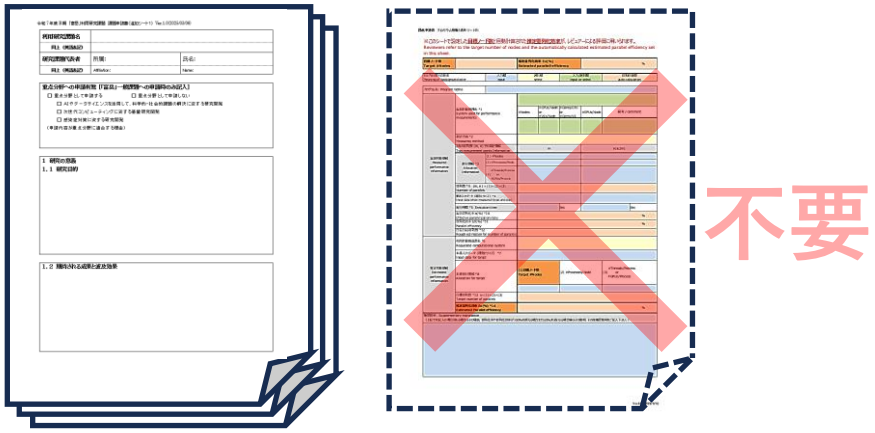
*1：産業課題(定期)のコンソーシアム型以外、コンソーシアム型のどちらも計算資源量の上限は800万NH/年。
*2：2026年3月5日に募集開始し、5月8日(金)に申請〆切。

© 2026 RIST

産業課題(定期)、産業機動的課題は追加シート2は不要

■ 産業課題(定期)、「富岳」産業機動的課題の申請は、
以前はWeb申請に加え、課題申請書(追加シート１)、プログラム情報シート(追加シート２)が必要でしたが、**プログラム情報シート（追加シート２）は不要**となりました。

➡ OSSや商用ソフトウェアを利用されている方々にも申請しやすくなっています。



課題申請書
(追加シート１)

プログラム情報シート
(追加シート２)

※一般／若手課題(定期)、機動的課題はこれまでどおりプログラム情報シート(追加シート２)が必要です。

© 2026 RIST

変更② 「富岳」有償課題の変更

■ 「富岳」の有償利用が「富岳」一般／産業有償課題に一本化

2026年3月末までは…

試行有償課題	≦10万NH	採択まで約1週間
有償課題	≦500万NH	採択まで約1ヶ月半

2026年4月からは…

有償課題	≦50万NH	採択まで約1週間
	＞50万NH	採択まで約1ヶ月半

ここがポイント！ 計算資源量が50万NH以下であれば、短期間で採択を通知

■ これまでの試行有償課題と有償課題の違いは一本化により統一

付加サービス	これまで	有償課題に一本化後
資源量の追加	有償課題のみ当初資源量を上限に可能	当初資源量を上限に可能
ジョブ実行開始時刻指定	試行有償課題のみ利用可能	利用可能

ここがポイント！ すべての有償課題で当初の資源量を上限に資源追加が可能

■ 利用報告書・非公開を選択時は利用報告書の提出は不要 ここがポイント！

■ 50万NH以下は課題申請書を簡素化 → A4判１枚のみ

© 2026 RIST

■「富岳」の有

2026年3月末まで

試行有償課題	
有償課題	≦

■ これまでの試

付加サービス	
資源量の追加	
ジョブ実行開始時刻	

■ 利用報告書

■ 50万NH以

題に一本化

万NH	採択まで約1週間
万NH	採択まで約1ヶ月半

れば、短期間で採択を通知

化により統一

課題に一本化後
上限に可能

量を上限に資源追加が可能

出は不要 ここがポイント！

1 枚のみ

「富岳」有償課題（一般/産業 50 万ノード時間以下）（追加シート1）

Ver.1.0 (2026/04/01)

利用研究課題名		
同上（英語表記）		
研究課題代表者	所属：	氏名：
同上（英語表記）	Affiliation：	Name：

1. 利用報告書の公開 ※どちらかをチェック☑してください。

☐ 利用報告書・公開 （50 万ノード時間以内）

☐ 利用報告書・非公開 （50 万ノード時間以内）

※50万 NH を超える資源量を希望するときは申請書（追加シート1）が異なります。

2. 資源利用計画

利用プログラム

利用プログラム	最大実行予定ノード数	利用実績（計算対象・実行計算機等）

計算資源

課金方式： ☐定額 ☐従量 ※どちらかをチェック☑してください。

利用期間	要求資源量（☐ノード時間／☐利用単位）※どちらかをチェック☑
202x 年 x 月～202x 年 x 月	
202x 年 x 月～202x 年 x 月	
合計	

※課金方式の従量制は、10 万ノード時間以下の課題が対象となります。

※利用料金は定額制の場合、年度（4 月～翌年 3 月）毎に請求いたします。
従量制の場合は、半期（上期：4 月～9 月、下期：10 月～翌年 3 月）毎に請求いたします。
定額制は年度毎の計算資源量を、従量制は半期毎に利用予定の計算資源量を記載してください。

※ノード共有利用の場合はノード時間を、ノード占有の場合は利用単位を記入願います。
なお、ノード占有利用の場合は 48 ノード×半年（199,728 ノード時間）が1利用単位となります。

3. 課題実施の妥当性

・提案課題の実施および成果の利用が平和目的に限定される等、科学技術・イノベーション基本法や社会通念等に照らして当該利用研究課題を実施しますか。 ☐はい ☐いいえ

（いいえにチェック☑された場合は「富岳」計算資源をご利用いただくことは出来ません。）

4. 希望する付加サービス

※付加サービスにより料金単価が異なります。参考.「富岳」料金単価・料金算出式・料金の目安等

（1） ノード利用方式

☐ ノード共有 ☐ ノード占有

（2） ジョブ実行開始時刻指定機能

☐ 利用予定あり ☐ 利用予定なし

申請支援システム＋このシート１枚のみ！

© 2026 RIST

「富岳」有償課題の付加サービスの紹介

優先実行(申請不要)

無償利用に比べて**年間を通じて優先**して実行されます
※実行時にリソースグループ `prior` を要指定

成果公開の義務なし

成果公開の義務なし
※**成果公開**は、「富岳」定期課題、機動的課題のみで必要。
https://www.hpci-office.jp/for_users/procedure_achievements_publication

利用報告書と情報の非公開を選択可

利用報告書・非公開を選択すると**採択時や** ここがポイント！
課題終了時の課題名、企業名、課題代表者名も非公開
※採択時および課題実施後に**HPCIポータル等**では、
課題番号、国名、利用計算資源名、配分ノード時間数のみを公開

計算資源量の追加

計算資源量は追加可能（年1回、初回申請の計算資源量が上限）

時間指定の実行

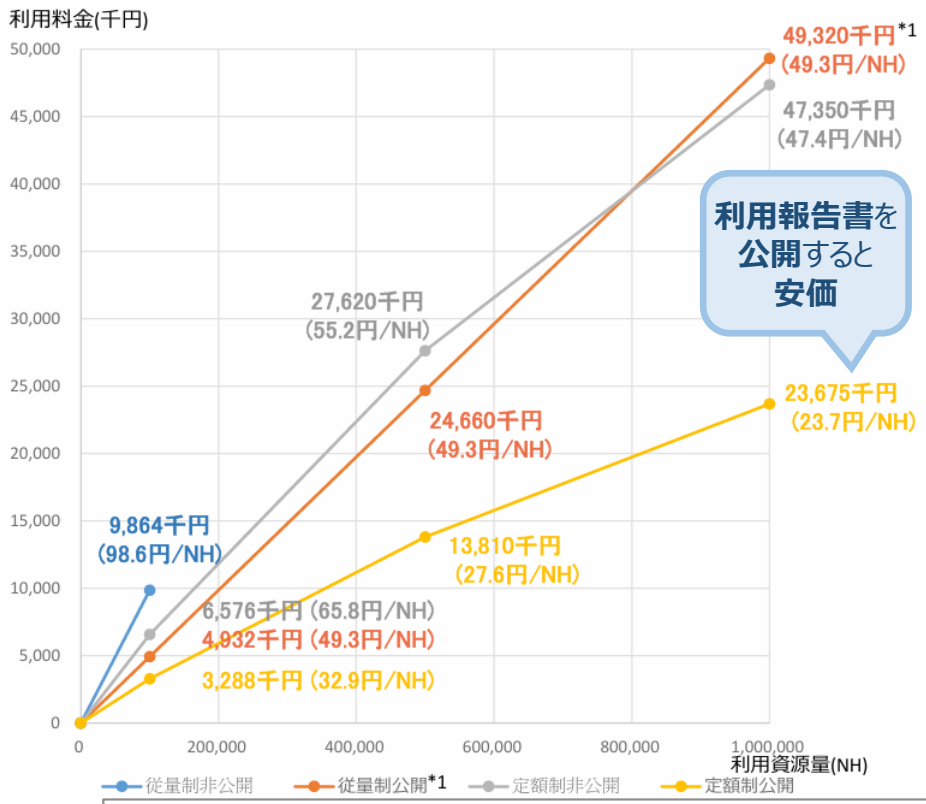
ジョブ実行開始時刻指定が利用可能
(利用料金は2倍)

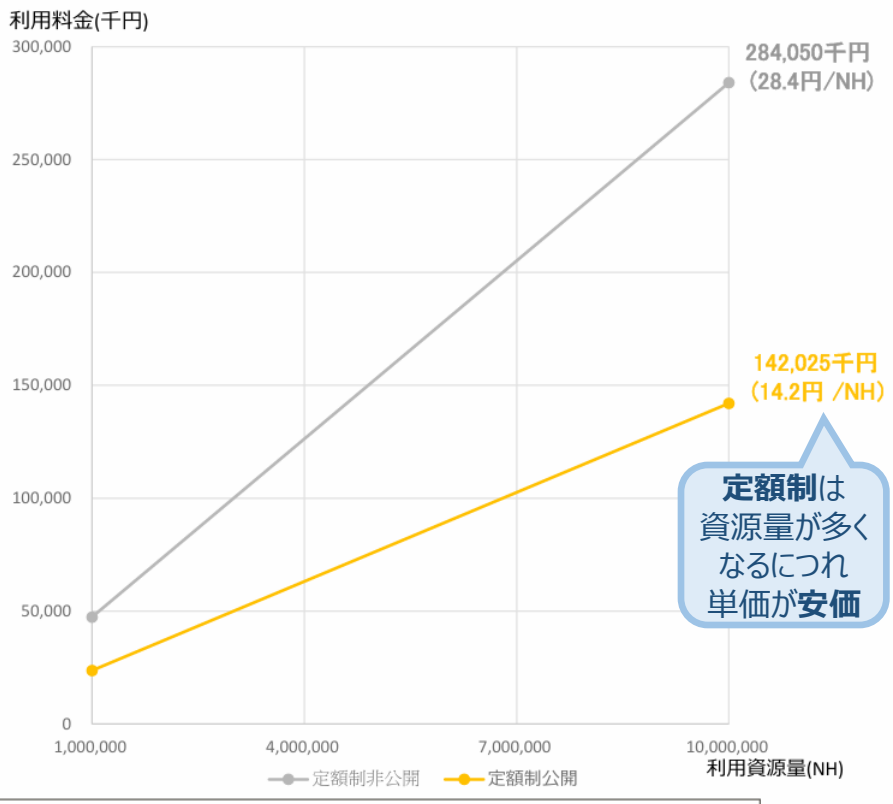
ノード占有が利用可

ノード占有利用を申請時に指定可能
(48ノード×半年＝199,728NHが1単位)

© 2026 RIST

参考　利用資源量と料金の関係例(共有利用のケース)





資源量 (定額制では配分資源量/従量制では利用資源量)
公開/非公開　：　利用報告書の取り扱い

利用料金表示：　丸印の点における利用料金(千円) (平均単価)

*1　従量制の10万NH超は「富岳」アプリケーションサービス課題のみ申請可能

Ver. 1.3（2025/2/28）

■ 利用料金の請求・支払い時期を含めた詳細は以下をご覧ください。
https://www.hpci-office.jp/download_file/view/836cb1af-88e2-4b41-a7f4-1f3211f0df2c/377

© 2026 RIST

「富岳」の課題の種類ごとの違い

	定期募集	随時募集（無償）			随時募集（有償）	
	一般/若手 産業課題	一般/若手/産業 機動的課題	一般/産業 試行課題	試行課題 ファーストタッチオプション （初めての方向け）	一般/産業 有償課題	
計算資源量上限(NH)	1500万(一般) 500万(若手) 800万(産業) ※いずれも下限は200万	200万	10万	1千 (固定)	50万	1000万(一般) 500万(産業)
利用期間	1年	1年	6か月	3か月	1年 (プロジェクトに応じて一般は5年、産業は2年)	
審査方法	申請内容を審査	申請内容を審査	資格審査のみ	資格審査のみ	資格審査のみ	申請内容を審査
利用開始までの期間	約5か月	約2か月 年4回審査	約2週間	約2週間	約2週間	約１か月半
利用報告書	A4で2～10頁	A4で2～10頁	A4で1頁	Webでｱﾝｹｰﾄ程度	公開を選択時はA4で1頁 非公開を選択時は提出不要	
成果公開の義務	あり	あり	**なし**	**なし**	**なし**	
優先実行	なし	なし	なし	なし	**あり**	

© 2026 RIST

「富岳」の課題の種類ごとの違い

初めての方向け

	定期募集	随時募集（無償）			随時募集（有償）	
	一般/若手 産業課題	一般/若手/産業 機動的課題	一般/産業 試行課題	試行課題 ファーストタッチオプション	一般/産業 有償課題	
計算資源量上限(NH)	1500万(一般) 500万(若手) 800万(産業) ※いずれも下限は200万	200万	10万	1千 (固定)	50万	1000万(一般) 500万(産業)
利用期間	1年	1年	6か月	3か月	1年 (プロジェクトに応じて一般は5年、産業は2年)	
審査方法	申請内容を審査	申請内容を審査	資格審査のみ	資格審査のみ	資格審査のみ	申請内容を審査
利用開始までの期間	約5か月	約2か月 年4回審査				1 か月半
利用報告書	A4で2～10頁	A4で2～10頁				4で1頁 提出不要
成果公開の義務	あり	あり				
優先実行	なし	なし	なし	なし	あり	

A) 課題番号が明記されている査読付き論文
(査読付きプロシーディングス、
博士学位論文を含む)

B) HPCI利用研究成果集
(登録機関発行の電子ジャーナルはうまくいかなかった事例でも公開可能)

C) 公開技術報告書
※事前に認定審査申請書の提出が必要

D) 特許(**出願公開**) New **複数課題・１成果** New

© 2026 RIST

参考 よくある質問　利用事例の便利な検索方法

Q 「富岳」では**どのような利用事例がありますか**？

A 以下の方法などで参照可能です。

通称：
スパコン成果ナビ

ここがポイント！

1. HPCIポータルの「HPCI研究成果」を参照

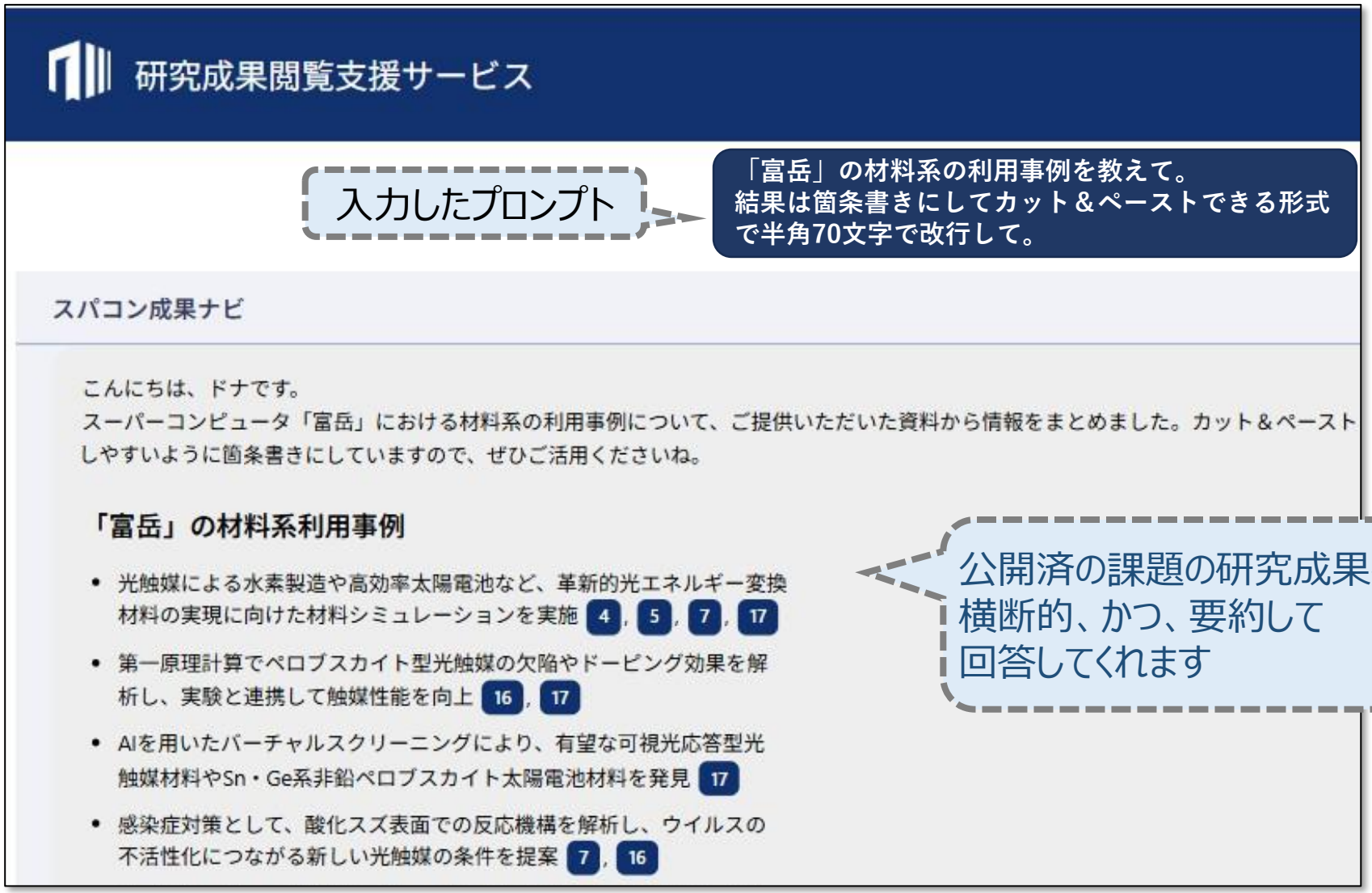
https://www.hpci-office.jp/achievements/user_report

2. 生成AIによる「研究成果閲覧支援サービス」を利用(9/ 1から提供開始)

https://fugaku2nd.zendesk.com/hc/ja/p/report_viewer_top

© 2026 RIST

参考 よくある質問　利用事例の便利な検索方法



公開済の課題の研究成果を横断的、かつ、要約して回答してくれます

利用は **ＨＰＣＩ 閲覧支援** でネット検索

© 2026 RIST

変更のまとめ

■ **「富岳」一般/若手/産業機動的課題の計算資源量の変更**

・**200万NH**に引き上げ …p. 4

■ **「富岳」一般/若手/産業課題(定期)の計算資源量の下限の設定**

・**200万NH**に設定…p. 4

■ **「富岳」産業課題(定期)の計算資源量の上限の変更**

・コンソーシアム型以外も**800万NH**に引き上げ…p. 4

■ **成果公開のルール変更**（一般/若手/産業課題(定期)、「富岳」機動的課題が対象）…p.11

・複数課題に対し、一つの成果公開を可能に変更

・特許を「特許権の取得」から「出願公開」に緩和

・企業以外も公開技術報告書による成果公開が可能（要、認定審査申請）

■ **「富岳」有償利用の変更**…p. 6

・「富岳」有償課題と試行有償課題を一本化し、計算資源量50万NH以下は資格審査のみで短期間で採択を通知

・「富岳」有償課題と試行有償課題で異なっていた付加サービス（資源追加、実行開始時間指定機能）はすべて利用可能

・利用報告書・非公開を選択すると利用報告書の提出が不要(HPCI産業有償課題も同じ)

・利用報告書・非公開を選択すると採択結果等に企業名、課題代表者名、課題名は非公開

© 2026 RIST

Research Organization for Information Science and Technology